

2021年度 第2回例会(Webinar) 「欧州の個人年金市場に関する最新動向および 長寿リスクに関連する死亡率のデータ分析に関する実務」

日本において、平均寿命が延びるとともに、100歳以上長生きする人も増加しており、「人生100年時代」とも言われています。老後期間の長期化に伴い、平均寿命と健康寿命のギャップが広がり、要介護者も増加しており、長生きによって老後生活資金の不足に直面する長寿リスクへの対応の必要性が高まっています。英国では、20年以上前から、加入者の健康状態に応じて年金額を割り増される弱者者年金(Enhanced Annuity)が販売されており、加入者の疾病歴、介護状態等が死亡率に与える影響に関して研究が行われてきました。

今回の例会では、はじめに、欧州の長寿リスクに対応する個人年金市場の最新動向について、英国の介護年金などの具体的な例を取り上げながら、ご紹介します。次に、欧州における長寿リスクに関連する死亡率についてデータ分析によって得られた知見について、ご紹介します。具体的には、社会経済状況別の死亡率の分析、疾患歴ごとの死亡率の違いなどの興味深い結果をご紹介します。最後に、長寿リスクに対応した終身年金や弱者者年金を日本に導入する場合の検討事項・課題を提示します。

- ◆日時 : 2021年6月18日(金) 18:00 ~ 20:00
※例会のWebinar化に伴い、当日参加が難しい方のために、録画動画の再放送を実施します。再放送を視聴の場合も当日参加と同様に出席と見做して公式CPD単位を取得可能ですので、当日の参加が難しい方は是非ご活用ください。再放送の日程は次の通りです。
【 7月2日(金) 18:00 ~ 20:00 】
再放送の参加方法等は前日1日(木)の正午までに改めてご案内いたします。
- ◆会場 : ZoomによるWebinar開催(定員 先着500名)
- ◆講師 : Ms. Christine Dahlke ※英語での講演となります。当日は日本語通訳があります。
Senior Actuary, Life Department 6, Hannover Rück SE

Dr. Torsten Franz ※英語での講演となります。当日は日本語通訳があります。
Assistant Actuary, Life & Health Data Analytics, Hannover Rück SE

反橋 拓朗 氏
ハノーバー・リー・サービス株式会社 シニア・マネジャー
- ◆参加登録 : 別紙をご参照ください。定員に空きがあれば、開催時刻まで登録は可能です。
※登録の際にご入力いただく氏名・会員番号・生年月日は、例会当日のCPD単位のための出席確認に利用します(前回の例会から、単位集計をより正確・簡易に行う目的で、生年月日のご入力をお願いしております)。お間違えのないよう、正確にご入力をお願いいたします。
- ◆講演資料 : 当会会員ホームページからダウンロードしてください(6月11日(金)頃掲載予定)。
- ◆質疑応答 : QA・アンケートツールである「Slido」を使用します(詳細は別紙をご確認ください)。パソコンでライブ配信を視聴し、スマートフォンでSlidoを使用することをお勧めします。なお、「Zoom」のQ&Aにご入力いただいた質問も、例会事務局にて「Slido」へ転記します。

講師プロフィール



Ms. Christine Dahlke

ハノーバー・リーの長寿リスク部門で15年以上勤務しているシニア・アクチュアリーです。英国、アイルランド、ドイツを担当する個人年金ソリューション・チームを率いており、個人の引受年金(Underwritten Annuity)を専門としています。ドイツ・アクチュアリー協会(DAV)のアクチュアリー資格を取得しています。



Dr. Torsten Franz

ハノーバー・リーの生命・健康データ分析部門(Life and Health Data Analytics)のバイオメトリック・モデル・チームに所属しています。世界の死亡率の傾向の分析と、医的なアンダーライティングを伴う商品のモデルの開発などを行っています。2018年にハノーバー・リーに入社する前は、物理学者として働いており、理論物理学の博士号を取得しています。



反橋 拓朗 氏

ハノーバー・リー・サービス株式会社の生命再保険シニア・マネジャー。日本の生命保険会社にて10年以上勤務後、ハノーバー・リーに2020年に入社しました。ハノーバー・リーでは、主にマーケティングを担当しており、また長寿リスク分野のプライシングのサポート業務にも携わっています。